

- 問1 日本の太平洋沿岸を北から南へ向かって流れる寒流で、東北地方の太平洋側に冷涼な空気をもたらし、夏に「やませ」と呼ばれる冷たい風が吹く際の原因の一つとなる海流の名称として適切なものを選びなさい。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 日本海流 (黒潮)                      2. 対馬海流                      3. 千島海流 (親潮)                      4. リマン海流
- 問2 各自治体が作成・配布している、自然災害が発生した際に被害が想定される区域や、避難場所・避難経路などの情報を地図上にまとめた資料を何といいますか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 路線図                      2. 地形図                      3. 等高線図                      4. ハザードマップ (防災マップ)
- 問3 河川的作用によって形成される地形のうち、「三角州」の成り立ちや特徴について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 河口付近で細かな泥や砂が堆積して形成され、土地が平坦で水が得やすいため水田に利用されることが多い。                      2. 河川が山間部から平野へ出る付近で、流れが急に緩やかになることで土砂が堆積して形成される。                      3. 火山の噴火による噴出物が河川沿いに堆積して形成された、傾斜の急な地形である。                      4. 河川の浸食作用によって周囲よりも一段高くなった平坦な地形で、水はけが良いため畑や住宅地として利用される。
- 問4 日本の諸地域のうち、中央高地に見られる気候の特徴を説明したもののとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
1. 標高が高く山に囲まれているため、年間を通して降水量が少なく、冬の寒さが厳しい。                      2. 冬は北西の季節風の影響で雪や雨が多く、夏は比較的雨が少ない。                      3. 一年を通じて温暖で降水量が多く、夏と冬の気温差が小さい。                      4. 夏は南東の季節風の影響で降水量が多く、冬は乾燥した晴天の日が多い。
- 問5 日本列島の太平洋側において、低緯度の暖かい海域から北に向かって流れる海流の名称として適切なものを選んでください。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
1. 日本海流 (黒潮)                      2. リマン海流                      3. 千島海流 (親潮)                      4. 対馬海流
- 問6 2万5千分1地形図において、細い実線である主曲線は10メートルごとに引かれています。標高20メートルの位置にある自然災害伝承碑から、斜面を登る方向に主曲線を3本越えた地点の標高は何メートルになりますか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. 50メートル                      2. 100メートル                      3. 80メートル                      4. 30メートル
- 問7 日本列島の中央部に位置し、日本アルプスの東側に広がる、古い地層の上に新しい地層が厚く堆積した巨大な断層帯が集中する地域を何といいますか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. シベリア高気圧                      2. フォッサマグナ                      3. 中央構造線                      4. 関東平野
- 問8 各自治体が作成しているハザードマップの活用方法や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 地価が高い地域の災害リスクをあえて伏せることで、都市開発を円滑に進めるため。                      2. 自然災害による被害の予測範囲を確認し、適切な避難場所や避難経路を事前に把握しておくため。                      3. 過去に発生した災害の復旧費用を算出し、住民に負担を求めるための基礎資料とするため。                      4. 災害発生時に警察や消防が使用する専用の通信ルートを住民に知らせるため。
- 問9 埼玉県川越市の中心部のような、江戸時代の城下町の構造を今に伝える地域を調査する際、軍事的な防衛機能を高めるために取り入れられた工夫として適切な説明を選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 「番所」や「関」といった名称を街の中心部に集め、有事の際にすぐに情報が伝わるよう、地形図上で「高塔」の記号で示される連絡施設を等間隔に配置した。                      2. 城に近い場所には「郭町」、正門入り口付近には「大手町」といった名称を配置して身分による居住区分け、さらに「鍵型の道路」によって城への直進を阻む構造にした。                      3. 「新田」や「閉塞」といった地名を城の周囲に配置して食料自給率を高め、外敵の侵入に備えて道路の幅を広く確保し、多くの公園を設けた。                      4. 「市」のつく地名を配置して商業を活性化させるとともに、見通しを良くするためにすべての道路を直線的に交差させ、中央に高い塔を配置して監視を強めた。
- 問10 日本の気候区分のうち、東北地方の日本海側に位置する都市の統計において、12月から2月にかけての月ごとの降水量が、6月から8月の各月よりも多くなっている気候の特徴について、その要因を説明したもののとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 年間を通じて乾燥した空気が流れ込むが、冬のみシベリア高気圧の影響で局地的な豪雨が発生するため                      2. 冬に吹く北西の季節風が日本海の上空で水分を蓄え、山脈にぶつかって雪を降らせるため                      3. 夏に吹く南東の季節風が太平洋の水分を運び、山脈を越えて日本海側に雨を降らせるため                      4. 暖流である黒潮の影響によって冬の気温が上がり、地表の水分が蒸発して雲が発達しやすくなるため
- 問11 福島県の郡山市周辺を流れる安積疏水は、猪苗代湖から山を越えて安積原野へと導水されています。ポンプなどの機械的な動力に頼らずに、遠く離れた原野まで水を流し続けることができた地理的な理由を説明したもののとして、適切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 供給源である猪苗代湖の標高が、供給先である安積原野の標高よりも高い位置にあるから                      2. 安積原野の土壌が水を通しやすい性質を持っており、自然に地下へ浸透するから                      3. 猪苗代湖の水量が年間を通じて豊富であり、常に強い水圧を維持できるから                      4. 水路の途中でダムを設置し、人為的に水位を一定に保つ工夫をしたから
- 問12 日本の気候区分のうち、冬に北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって多くの雪を降らせるため、12月から2月にかけての降水量が他の月と比べて著しく多くなる特徴を持つものを何と呼びますか。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
1. 日本海側の気候                      2. 中央高地の気候                      3. 太平洋側の気候                      4. 瀬戸内の気候
- 問13 長野県松本市の気候統計を確認すると、1月の平均気温が0度を下回るほど寒冷である一方、8月の最高気温は25度を超える厳しい暑さとなります。また、年間を通じて月間降水量が150mmを超える月がほとんどないという特徴があります。この都市が属する気候区分として正しい名称を選びなさい。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 瀬戸内の気候                      2. 日本海側の気候                      3. 内陸性気候 (中央高地の気候)                      4. 太平洋側の気候
- 問14 災害時の防災対策において、地形図から「標高」や「地形」の情報を読み取り、避難所を選定する目的として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
1. 避難経路を短縮するため、高低差のない海岸付近の平地を優先的に確保すること                      2. 津波や洪水による浸水被害を避けるため、安全な高さにある場所を特定すること                      3. 地盤沈下を防ぐため、埋立地などの標高が低い場所の面積を算出すること                      4. 土砂崩れの危険を避けるため、等高線の間隔が最も狭い急斜面を避難先にすること